

林業のちから×ふくしの心～木づかいですべての人に健康と福祉を～

【取組み内容】

- ・ 林業と福祉の課題を解決する目的の**林福連携**の取組み。
- ・ **木製の認知症予防パズル**「好きっ！通潤パズル」の販売。
- ・ **障害者就労支援施設と連携**したパズルの継続生産と第2段開発。
- ・ **福祉の高校と支援学校との連携**によるオリジナルポッチャランプの製作。
- ・ 高齢者福祉、障害者福祉、保育など**様々な福祉分野で木材を**使った製品を活用していただくための活動。

「好きっ！通潤パズル」第2段



Second step

ポッチャランプ



評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント

普遍性	町の福祉行政や(株)Re学の協力で、国産材を活用した安価で誰もが楽しめる福祉用具を開発。全国へ販売し高齢化社会の課題を解決する。
包摂性	高齢者等の認知症発症リスクの低減が期待でき、マスコミやSNSによる紹介で全国からの注文があり、多くの人の健康長寿が期待できる。
協働性	山都町福祉課・山の都創造課、社会福祉協議会、(株)Re学、上天草高校福祉科など行政等の専門家や高校生と協力した取組みを行っている。
統合性	地球温暖化防止等に関する林業と高齢化問題に関する福祉の分野が連携して、経済・社会・環境における課題を解決する取組みである。
透明性	PDCAサイクルに基づいた探究的な学びを学会発表等につなげ、様々な専門家からのアドバイスを頂き、よりよい活動につなげている。

貢献するSDGsのゴール

